

第86回 (R7. 2)

テレサテン

30年前の1995年は忘れ難い年になった。1月に阪神淡路大震災が起こり、3月には地下鉄サリン事件が発生。未曾有の災害と犯罪に、世の中は言いようのない不安に包まれた。その年の秋、一人の歌姫の訃報が駆け巡った。テレサテン享年42歳。その若すぎる死はアジアのファンを驚かせた。

台湾のみならず香港や東南アジアで活躍していた彼女は、1974年日本デビューを果たす。香港出身のアグネスチャンに倣い、アイドル路線でスタートしたが失敗。日本人に馴染み易い演歌の曲調に転換すると、二曲目の「空港」で爆発的なヒットを飛ばす。以後「つぐない」「愛人」「時の流れに身をまかせ」など、今も歌い継がれているヒット曲を連発する。

彼女の歌は「秘めたる恋」「道ならぬ恋」をテーマにし

たものが多く、女性の胸の奥に宿る秘めやかな思慕を歌い上げる。歌詞を見るとストリートで、重くきわどい言葉が溢れているが、彼女が歌うと何やら軽やかに聞こえる。そして、その声は爽やかで、シルキーボイスと評する人もいる。テレサテンが逝って30年、今も多くの人々が台湾北部の墓所を訪れる。

さて、ある日の我が家の会話は、珍しく世界情勢に及んだ。「最近あちこちで戦争やっけて、いつ台湾有事が勃発しても不思議じゃないわね」「そんなことになったら、台湾には二度と行けなくなるな」「早く行かないと故宮博物院やテレサテンのお墓にも・・・そうだわ！娘と一緒に行ってきます」「ええ～～～」「あなた又留守番お願いね」

大陸の皆さん、頼むから要らんことをしないでくれ。